

尾張徇行記について

尾張徇行記

について

藩政時代の村勢を伝える記録に「尾張徇行記」がある。この著者は樋口好古と言い、若くして勘定方並手代、また寛政年代には国方吟味役並となり、司農の任務の完遂に努力し、領内を回り村々の様子を把握するとともに、これを記録にまとめたのが、尾張徇行記で全三十九巻からなり、寛政四年（一八二二）で、一世紀以上たった今日、当時の村勢を知る貴重な資料である。

本町の関係については「第四巻、小牧御代官支配所丹羽郡中村邑」の中でその村々の村高、地積、貢租、戸口、特色などがしるされている。

- 御供所村 ○長桜村 ○入鹿長桜替地新田 ○入鹿又助新田 ○入鹿九郎右エ門新田
- 入鹿八左エ門新田 ○入鹿三右エ門新田 ○入鹿清右エ門新田 ○入鹿宗雲新田 ○入鹿伝右エ門新田
- 外坪村 ○小口村 ○河北村 ○余野村 ○大屋敷村 ○小折入鹿出新田

尾張徇行記に於ける用語及び記号の説明

元高……備前検地によつて決められた村の生産高である石高。

概高……「四ツ概」による名目的な村高。

※ 四ツ概Ⅱ過去十か年間の年貢納高を村ごとに平均し、その平均年貢が元高の「免四ツ」Ⅱ（税率四〇パーセント）に相当するように修正した石高。

（記号） ○ ……すべて蔵入地

● ……すべて給知、または寺社領

◎ ……蔵入・給知の立合（蔵給立合）

麦成……麦で納める年貢で、本年貢の内である。

不同免……年貢は本来米納であるが、願いによつて金納をしたもの。

縄入……検地のことで、間縄を張つて土地の丈量をした。

畠積……畠は作目が多く、麦・稗・大豆の三品で畠年貢を見積つた。

麦一石は……米五斗

稗一石は……米三斗

大豆一石は……米八斗に相当した。

反米……田畑一反に付、米どれだけということ。

（反米五斗一升とは、麦五斗稗六斗大豆一斗と見立て算出してある）

定免……過去数年の平均収穫高をもととした一定の税率で、検見をしないもの。 ※定免五ツ……徴収率五割の意
佃力……村人の田を耕す力。労働力、

定納米……見取所の取米を年々の平均で定め、検見をしないで上納するもの。

上納銀……上納する金で銀納のもの。

沙地……砂地。

見取田……新しく田畑を開墾し、土地が悪く本高に入れず面積を計るだけで軽い年貢を納めた田。

寄付人馬……宿駅の近くの村で、助郷として課役となっている人馬。

井高……用水の灌漑高。

承佃……隣村の田畑を引き受けて耕作すること。

クロスクモ(黒)……黒色の泥土

三日役……堤・川除・用水など修理工事がある場合、高持百姓の三日分の人足で行った。

竹役……各村の藪に役竹何本と定め、代銀でこれを取っていた藪年貢である。

定引(前々引)……荒廃した耕地のために年貢を引くこと。

采地……給地・知行所の意。

入合……一定地区の住民が、公共または他人所有の森林、原野、池などに入り共用の利益を得ること。

証文引……主に藩士の屋敷・道路などの公用地、あるいは極端な禿地で、奉行より証文が出され、年貢が引かれてい
る田畑。

御国検除……尾張藩が実施した御国検地のとき認められた除地（免税地）。

備前検除……慶長一三年（一六〇八）の備前検地のとき認められた除地（免税地）。

散田……荒地または川辺などの常時は課税されない土地を耕し、軽い税を納めた田。

定掟……安い年貢

荏……シソ科の草木。「エノアブラ」をとり灯用、塗用にした。

易地……土地をかわる。（転地の意）

高持……家・屋敷・田畑を所有し、村高の一部を分担して耕作する百姓、本百姓ともいった。

支邑……わかれた村。枝郷、枝村。

佃僕……小作人。

フケ田……どろ深い田地。

薄地……地味のやせた土地。

糧戸……年貢米を納める農家。

手代……収税などの業務を行った小使。

浴田……田地に水を引込む。

古戸、口、馬……寛文覚書に記されている資料。

※ 寛文覚書は寛文中（一六六一―一六七二）に尾張藩で作られたもので、古い村勢要覧と言えるものである。

今戸、口、馬……徇行記に記されている資料。

• 尾張徇行記

河 北 村

元高千六十一石九斗二升五合

●高九百二十三石七斗五升二合

小弓庄
河北村

田畠八十七町八反一畝十五歩

内 田八十一町一畝十三歩
畑六町八反二歩

成瀬隼人正采地

寛文二寅年縄入

一 高二十石三斗五升二合

同所入鹿新田

田畠三町三反一畝十四歩

内 田八反一畝十七歩
畑二町四反九畝二十七歩

此内高三斗八升三合三畝十四歩 証文引

高二斗三升四合畠三畝十歩

前々引

一 定免四ツ

一 神寺二社、覚書ニ、境内ニ反廿歩前々除○羽黒村祢宜宮地河内書上ニ、神明境内一反五畝十歩又神明社内五畝十歩共ニ前々御除地、二社共ニ勸請年紀不伝ト也

一 薬師堂跡一畝十二歩藪アリト覚書ニミヘタリ

一 観音堂一字、下野村覚王寺書上ニ、境内ニ畝十歩村除、是ハ寛政六寅年願ヨツテ二ノ宮村常福寺控ノ薬師堂号ヲ譲リウケ、一字ヲ創建シ観音ヲ安置シテ如此改号セリ

一 此村東西四町南北十九町

一 四至、東ハ羽黒村、南ハ楽田村久保一色村、西ハ外坪村小口村、北ハ下野村下野原新田

一 古戸四十六口二百八十七馬二十三匹、今戸八十五口三百五十六馬七匹

一 此村落ハ幼川ノ北ニ農屋建ナラヘリ、本郷ハ一村立ノ所也、屋並大体ヨクミユレトモ、糧戸ノ荒墟竹林ノ間ニ多クアリ、高二準シテハ戸口不少村立ハヨキ所也、其内薄地多キ故ニ町反ニハ延アレトモ、地頭ノ定免ニツ九分一厘ホトニ当リ下免ナリ、寛文覚書ニ枝郷中沖ニツ屋トアリ、此枝郷ハ古キ所トミヘタリ、ニツ屋ハ本郷ヨリ八町ホトヘタチ小口村界南ノ方ニアリ、中沖ハ本郷ヨリ四町ホトヘタチ南ノ方ニアリ

一 北ノ方下野村界ニ郷瀬川アリ、此川上ハ善師野川ナリ、河北田面郷瀬川決壊アリテ水災ヲウクルコトアリ

一 用水ハ、入鹿井組高四百八十三石五斗也、又涌水ヲ以テモ田へ溉キ旱災ハナキ所ナリ

一 見取田畑四反六畝八歩○定納米一石一斗六升

一 同松山荒屋敷三町一畝三步○定納米六斗八升一合

一 覚書ニ、当村用水入鹿枝井道八百石清水井道千五百四十間善師野川井道五百廿間村ノ内ニ有之

一 川北村善之右衛門水車、古義二、小口村地ノ内ニ取立運上金二兩ツ、差上

余野村

元高五百四十四石六斗八升

●高五百三十九石三斗一升五合

高雄庄

余野村

田畠五十九町六反九畝二十六步

内 田六町二反九畝十四步
畑五十三町四反十二步

此内給知高合四百八十九石三斗一升五合

五十石

鈴木 仁左衛門

五十石

水野 彦四郎

三十二石三升

大野 喜左衛門

四十九石五斗五升三合

原 十郎左衛門

六十六石

滝本 六左衛門

五十八石

三宅与総左衛門

十七石

生駒 伊右衛門

三十石七斗八升三合

福沢 先右衛門

四十石六斗七升二合

久米 佐兵衛

四十四石一升四合

近藤 市右衛門

三十四石二斗六升三合

新野 久右衛門

十七石

児島 友九郎

御藏入高五十石

田島五町五反二畝十七步

内 田五反八畝十步

畑四町九反四畝七步

此内高一斗九升七合 田一畝九步定引

一 麦成六石七斗五升〇定免三ツ三分六厘

寛文二寅年縄入

一 高二石二斗九升三合

同所入鹿新田

畠四反五畝八步

一 畠積反米四斗三升〇定免四ツ四分

一 德林寺 府志曰、在余野村、号大竜山、臨濟宗、属大山瑞泉寺○里老伝曰、昔時此村有小池与八郎者、其妻為山姑、於二宮山為福富新藏所射、事見二宮山条下、与八郎有子則山姑所生、後為其母建此寺、恐附会之説也、中古荒廢、小口城主織田氏再建此寺云○塔頭、竜福庵・全德庵・宝光院・徳重庵○寛書二、寺内年貢地、寺家宝光院全德庵徳重庵共二寺内年貢地、竜福庵寺内六畝二步備前檢除○当寺書上二、此寺草創ハ、永仁元年小池与八為母山姥法号今改小口創建ス、空母山徳蓮寺ト号ス、密寺ニシテ智証ノ開基スル所也、又文明元己丑年大久地邑今改小口矢筈ヶ城主織田遠江守広近法号本住院殿珍嶽常宝大禪定門斯波武衛將軍源元勲之臣織田郷広仲子移城干大山再建シ改テ禪寺トス、時ニ中興開山悟溪和尚ニ請テ大竜山徳林寺ト改号ス、遠江守寺領トシテ永錢三十貫寄附セラル、第三世蘭室和尚ノ時、小牧兵乱ニヨリ天正十二甲申年殿堂及四塔頭寺領ノ証文マテ焼失ス、其後塔頭四区共ニ再建スレトモ本寺ノ再建ヲナスコトアタハズ、只開山堂ノミ取建シカ、備前檢ノ時塔頭ノ中竜福庵鑑首座塔主ニテアリシ故ニ、吟味ノ上大竜山中ノ除地トシテ賜ハリケレトモ、徳林寺塔主竜福庵名当ヲ以テ賜ハリシ訣ヲ不存故、竜福庵ヘ賜ハリシ様ニ申伝フレトモ、全クサニアラス、夫故除地反畝無之トナリ、最山中境内ニ畠アリシヤ村除ニ反二十四步書上シト申伝フレトモ、只今ハ山林ノミニテ一円知レズト也○竜福庵書上二、当庵草創ハ年曆知レズ、中興再建ハ文禄元壬辰年ナリ○全德庵書上二、当庵草創年曆知レズ、中興再建ハ元和乙卯年ナリ、境内八畝步村除○宝光院書上二、当院草創年曆ハ不知、中興再建ハ慶長十五庚戌年也、境内四畝步村除○徳重庵書上二、当庵草創年曆ハ不知、中興再建ハ慶長十七壬子年也、境内四畝步村除

一 社四ヶ所、覚書二、神明八幡權現天神白山社内、五反九畝步前々除、当村祢宜新太郎持分○神明社人倉地源左衛門書上二、八幡社内一反五畝步前々除、勸請年紀ハ亡失ス、文禄五丙申年中島佐兵衛尉再建ス、神明モ同社内ニア

リ、勸請年紀亡失ス、慶長二丁酉年中島氏再建ス、其後氏子統テ修造ス、鰯口二口、是モ慶長年中島氏寄進ス、白山権現社内二反歩前々除、熊野権現社内一反八畝歩前々除、此二社慶長二丁酉年中島佐兵衛尉勸請ス、天神社内六畝歩前々除、慶長十八癸丑年吉田伊右衛門勸請ス、其後氏子共統テ修造ス

一 勸音堂、竜福庵書上二、境内一反歩前々除

一 小池宅、府志古城条曰、在余野村、里老相伝、小池与八郎者居此、与八郎妻乃山姑也、其墟有一大楮樹、人若犯之則寒熱發狂、懼不敢伐、按小池事諸記録不載其説、忘誕不可擬、然土人所伝若此、故載之以後人此宅跡ハ方ニ村辰巳ノアリ

一 此村東西四町南北五町半

一 四至、東ハ中小口村下小口村、南モ同村、西ハ柏森村、北ハ同村ト中小口村上小口村

一 古戸七十二口四百二十一馬十八匹、今戸百三十二口五百二十馬十匹

一 此村落ハ中央ニアリテ一村立ノ所也、高二準シテハ戸口多ケレトモ、漸合ニ糧戸ツブレ貧村ナリ、此村ハ畑多クシテ薄地ニハ茶圃入交レリ、茶ノ木ハ百年余ヲ経ザレハ大株ニハナラズ、又茶ヲ採ルニハ随分古枝ヲ伐テ若枝ヲ出スカヨロシト云、又沙地ナレハ大麦ハ実ラズ、茶桑ノ間ニ多ク小麦荏モ栽ルトナリ、桑葉ハ蚕養ノ此他村ヘウリツカハセリ

一 用水ハ、覚書ニ木津井筋小口村ヨリ枝井平カ、リトアリ

一 見取四町四反九畝十二歩、内田九反十二歩畠三町五畝二十八歩小松生半ノ本草野四反六畝二歩○定納米九石一斗一升

一 野方見取八反一畝六歩内田一反四畝十二歩畠六反六畝二十歩○定納米一石四斗

- 一 松山四町八反一畝七歩○定納米一石三斗九升六合
- 一 三日役百二十九口
- 一 覚書ニ、善師野宿寄付人馬ヲ出ス

外 坪 村

元高二百三十八石九斗九升七合

●高二百四十石五斗七升

稻木庄
外坪村

田島二十三町一反三畝四歩

内 田十八町四反二畝二歩
畑四町七反一畝二歩

此内給知高合三百二十四石二斗八合

五十石九斗八升五合 太田 半右衛門
 五十九石八斗一升五合 市川六郎左衛門
 五十石 岡崎 助治郎

二十三石九斗五升三合

市橋 甚太郎

二十六石

後藤 重右衛門

二十五石

福沢 先右衛門

十六石三斗六升一合

淡河 武治

七十二石九升四合

原十郎 左衛門

御藏入高十六石三斗六升二合

田島一町一反一畝四步

内 田九反十三步
畑二畝廿一步

此内高四斗三升六合 田二畝五步 定引

一 麦成一斗九升〇不同免

寛文二寅年繩入

一 高百七十三石二斗八合

同所入鹿新田

田島十八町一反五畝十步

内 田十四町四反五畝一步
畑三町七反九步

此内高七斗八升三合 田八畝二十一步 前々引

- 一 畠積反米五斗一升○定免四ツ七分五厘
- 一 高十石六斗四升七合 同所三ヶ一新田
- 一 田一町二畝十三歩○定免五ツ四分五厘
- 一 高五石九斗四升二合 同所午新田
- 一 田五反六畝十二歩○定免四ツ八分
- 一 本光寺 府志曰、在外坪村、一向宗東派直參○覺書二年貢地○当寺書上ニ、境内一町四反九畝廿七歩年貢地、此寺ハ寛文九酉年僧善昌開基ナリ、元來此寺本田所ニアリシカ、元禄三年願ヨツテ新田所今ノ地ヘ寺ヲ移シ、旧跡ハ三反五畝歩村除ニテ寺ノ控畠ナリ
- 一 社ニヶ所、覺書ニ神明大明神社内ニ反歩前々除○二宮南神主久兵衛書上ニ、三明神神明社内東西五十間南北四十七間、此社ハ天正十五年勸請ナリ
- 一 此村東西十町余南北五町余
- 一 四至、東ハ河北村楽田村、南ハ春日井郡岩崎原新田村中原新田、西ハ同郡河内屋新田、北ハ小口村
- 一 古戸三十三口二百二十一牛馬十八匹、今戸六十八口二百一馬六匹
- 一 此村落ハ古木津渠ノ西ニアリ、本郷ハ小口村ノツ、キニアリ、即小口村ノ支邑ニ北外坪トイヘル所アリ、其外民居新田屋敷松山屋敷寺屋敷ト四区ニ分ル、一体高二準シテハ戸口少クシテ佃力不足、高持共ハ田地ヲ安掟ナトニスル故ニ、サナカラ乏匱スト也、村立アシク貧村ナリ
- 一 見取田畑五町二反六畝二十六歩○定納米八石五斗五升

- 一 野方見取田畑二反二畝十六歩松山三反五畝歩〇定納米五斗二升
- 一 同松山一町三畝二歩〇定納米七斗五合
- 一 竹役二十本結一束十六本
- 一 入鹿郷新田竹役五十本結二束三十六本
- 一 柳枯草場古木津江両提長三百九間銀三匁八分
- 一 三日役七十八口
- 一 用水八、覚書二、木津大井筋並入鹿井カ、リ
- 一 寛文覚書二、入鹿新田永符起三ヶ一地、是ハ寛永十二戌ノ年入鹿池出来ノトキ、其村々ノ永符御新田ニナリ、永符ノ内三ヶ二ハ公義へ被召上、三ヶ一ハ其村ノ給人へ被下、其後二十八年以前戌ノ年、御国概高ノ時右新田見取本田ノ米ト一所ニ概高へ入今見取場ニナル〇今ハ前条三ヶ一新田以下見取変易シテ町反増セリ
- 一 覚書二、善師野宿寄付人馬ヲ出ス

大屋敷村

元高六百六十三石四斗五合

●高八百四十六石四斗七升五合

高雄庄
大屋敷村

田島六十町五反一畝十七步

内 田二十六町四反四畝二十二步
畑三十四町六畝二十五步

此内給知高七百九十五石一斗八升七合

四十石

久野 市右衛門

十六石六斗二升七合

安井 将吉

二十五石

田島 孫平

二十七石三斗六升八合

岡田 七左衛門

二十石

長屋 忠左衛門

五十石

桜井 六太夫

二十一石八斗八升八合

榎原 吉九郎

三十五石

大津 文右衛門

五十石

戸田 市右衛門

二十五石

市橋 彦太郎

四十八石二斗八升二合

伊藤 武九

三十七石

大島 彈吉

十五石

稻葉 喜藏

二十五石

杉山 新左衛門

二十石

山下弥三右衛門

三十石五斗四升九合

岩田 繁三郎

五十八石一斗九升七合

大島 武左衛門

二十五石

中村 三郎兵衛

三十三石八升三合

平岩 伝右衛門

二十五石

木村 助八

三十七石

酒井 平右衛門

二十六石五斗五升二合

中山 大作

三十九石九斗九升九合

村井 意六

三十八石六合

古高 喜右衛門

二十四石九斗一升六合

近松 兵右衛門

御藏入高五十一石二斗八升八合

田島三町八反二十六步

内 田一町六反二畝二十歩
畑二町一反八畝六歩

此内高三斗五升八合 田一畝廿六歩前々引定引三口

一 麦成三石五斗九升二合○定免二十三石ハ三ツ九分八厘二十八石二斗八升八合ハ四ツ取ナリ
寛文二寅年繩入

一 高五十四石二斗五升一合 同所入鹿新田

田畠五町六反七畝十二歩

内 田五町二反七畝十二歩
畑三反九畝歩

此内一斗七升一合田一畝廿五歩 前々引

一 麦成三斗○定免五ツ八厘

一 高十三石六斗八升六合 同所入鹿出新田

田畠一町五反六畝九歩

内 田一町二反三畝二十九歩
畑三反二畝十歩

一 畠積六七一五反米六斗三升○定免五ツ一分八厘

元禄十五年繩入

一 高二十石二斗六升一合

同所丑新田

田 畠三町六反八畝一步

内 田一町一反二十四歩
畠二町五反七畝七歩

一 永々定免二ツ五分

享保十二未年繩入

一 高六石八斗五升八合

同所未新田

田 畠七反五畝十五歩

内 田五反四歩
畑二反五畝十一歩

一 畠積六七一五反米六斗三升〇定免四ツ一分五厘

延享元子年繩入

一 高二十九石一斗五升二合

同所子新田

畠五町一反十八歩

一 麦成九斗〇定免五ツ三分五厘

一 長松寺 府志曰、在大屋敷村、号鶴立山、曹洞宗、属正眼寺〇当寺書上ニ、境内五反七畝十七歩野方年賣地、此寺往昔ハ中島郡奥田村ニアリシカ、大屋敷村ニハ一寺モナキニヨリ、元禄七戌年時ノ主僧伝東卜村人願ニヨツテ

今ノ所へ易地ス、境内ニ地藏堂一字アリ、是ハ享保十六亥年主僧皓受創建セリ

一 社六ヶ所、覚書ニ、三明神明諏訪奥宮天神八幡社内三反七畝十五步前々除○長松寺書上ニ、大県真清田熟田三
明神一社境内二反余年貢地、コレハ寛文十二子正月勸請ナリ、八幡宮熊野権現一社境内一畝余村除、是ハ享保十
七巳中秋勸請ナリ、白山権現社はハ三明神ノ林中ニアリテ末社ナリ、三明神ト同時ニ勸請ナリ、大県大明神社内
一畝余年貢地、是ハ元禄十二卯四月勸請ナリ、天神社内二畝二十步余年貢地、是ハ享保十二未十月勸請ナリ、諏
訪大明神社内三反四畝二十六步余年貢地、是ハ天文八亥七月勸請ナリ、神明内宮外宮二社境内五畝廿步余年貢地、
是ハ貞享五辰五月勸請ナリ、山王権現森境内二畝余年貢地、社ナシ

一 此村東西十二町南北九町半

一 四至、東ハ小口村伝右衛門新田宗雲新田、南ハ長桜村御供所村、西ハ今市場村力長村、北ハ小口村

一 古戸八十二口五百二十九馬三十六匹、今戸百三十七口五百三十八馬十三匹

一 此村落ハ本郷支邑三区ニ分ル、本郷ハ今市場村ヨリ東北ヘユクトリ付ニアリ、支邑ヲ大御堂高橋ト云、是ハ寛文
覚書ニモアレハ旧キ支邑ナリ、大御堂ハ本郷西北ノ方力長ヘ至ル村徑ノ間ニアリ、高橋ハ南東ノ方御供所界幼川
ノ辺リニアリ、此村高二準シテハ戸口少ク、他村ヨリ九十人ホト承佃スト也、田畑多クハ御供所村富人伴左衛門
ヒカヘ居ル由、サレハ村中ニ於テハ不足ナルカ故ニ、漸々匱乏ニオヨブトナリ

一 用水ハ、木津渠ノ水ヲ小口村ヨリ枝井ヲ以テ引、又幼川ヨリモ引也、其外小口村フズヘ清水モヨクカ、ルト也

一 幼川ハ、東北小口村ノ方ヨリ流来リ、村中ヲ西南ノ方ヘ流ル、凡ソ長七百五十間アリ

一 見取藪松生四町一反五畝十三步○永々定納米一石三斗三升三合

- 一 見取屋敷藪松生一町二反八畝二十七步○永々定納米四斗六升七合
 - 一 見取田方二十一歩○永々定納米四升
 - 一 同川方田一畝二歩○定納米七升
 - 一 野方見取松山五反七畝十七歩○定納米一斗四升四合
 - 一 三日役百三十一口
 - 一 竹役
 - 一 覚書ニ、善師野宿へ寄付人馬出ス
- 元禄七戌年縄入
- 一 高四十四石五斗六升
 - 一 田五町三畝十八歩○定免五ツ一分八厘
- 同所新田

長 桜 村

元高百三十三石七斗七合

○高百七石七斗三升七合

稻木庄
長桜村

田島十一町六反七畝十歩

内 田十町八反九畝十四歩
畑七反七畝二十六歩

一 畠積五六一反米五斗一升〇定免三ツ九分五厘

寛文二寅年繩入

一 高十九石一斗三升八合

同所入鹿新田

田島一町九反三畝十七歩

内 田一町七反四畝二十四歩
畑一反八畝二十三歩

一 定免六ツ一分

一 社二ヶ所、覚書ニ、春日天神社内一反五畝歩前々除〇庄屋書上ニ、天王神明二社境内一畝六歩、天神春日大明神

二 社境内四畝歩共二年貢地、外二田四畝歩村除

一 此新田東西十一町半南北八町半

一 四至、東ハ小口村外坪村、南ハ河内屋新田^{春日}井郡宗雲新田長桜替地新田、西ハ御供所村八左衛門新田大屋敷村幼川

ヲ境トス、北ハ大屋敷村小口村村内へ処々ノ新田ノ地入交レリ

一 古戸十一口七十四馬六匹、今戸二十二口八十馬二匹

一 此村落ハ一村立ノ所ナリ、高二準シテハ戸口少ク、佃力不足ナル故ニ散田多ク、又他村ノ控ニモ多クナレルト也、

対立アシク貧村ナリ

一 用水ハ、寛書ニ木津井筋小口村内萩島ヨリ枝井カ、リ

一 山方見取五町九反三畝二十一歩、内田畠二町一反二畝十六歩松山一町五反三畝十五歩其余屋敷○定納米三石一斗五升

一 三日役二十口

一 竹役

一 寛書ニ、善師野宿へ寄付人馬出ス

入鹿長桜替地新田

寛文二寅年纏入

○高百六十三石九斗三升

入鹿長桜替地新田

田畠二十三町七反四畝十五歩

内 田十二町九反六畝二十三歩
畑十一町七反七畝廿二歩

一 畠積四五一反米四斗三升○定免三ツ六分

- 一 此新田ハ、長桜村河内屋新田宗雲新田御供所村入鹿出新田三右衛門新田又助新田入交リ、此長桜替地新田ノ郷ハ、東西一町余南北二十五間ホトアリ、春日井郡西島村ノ界ニアリ、小百姓ハカリニテ貧村也、田畝ハ処々ニ散在シテ十ヶ所ホト二分レリ、入鹿新田築キシミキリ、処々ニ見立開墾シタル事トミヘタリ、高ニ準シテハ田畝町反大キニ延アレトモ、此アタリハ土クロスクモニテ性アシク、田畠共ニ実リヨロシカラス
- 一 古戸十三口四十七馬三匹、今戸二十九口百十五馬一匹
- 一 覚書ニ、用水ハ木津井筋幼川ヨリカ、ルトアリ、是ハ小口村支邑萩島ノ口ヨリ引ナリ
- 一 見取一町一反二畝十九歩、内田畠九反四畝二十四歩其屋敷野○定納米九斗六升
- 一 竹役五十本結一束
- 一 三日役三口

入鹿八左衛門新田

○高五十五石一升八合

入鹿八左衛門新田

田畠五町六反一畝二十二歩

内 田四町六反七畝八歩
畑九反四畝十四歩

一 島積五六一反米五斗一升○定免五ツ一分

一 此新田東西四町半余南北三町余

一 古戸五口二十二馬一匹、今戸十四口六十馬ナシ

一 此新田ハ、庄屋八左衛門先祖五代以前、長桜村ヨリココニ□リ開墾ス、郷ハ長桜村ノ北ニアリ、田畝ハ長桜村宗雲新田伝右衛門新田ニ入交リ、六ヶ所ホトニ分レリ、天明二寅年洪水ニテ田畝イヨイヨ白地ニナリ、百姓衰耗シ竹本伐アラシ、地主八左衛門ハ元来貧匱ナルウエニ、疹疫凶歳ノ患ニ遭零落シ、稍高十石目ホトモ持イブセキ茅茨ニ幽居セリ、此新田ハ、御供所村伴左衛門小折出新田弥左衛門多ク控来ルトナリ

一 用水ハ、覚書ニ小口村内萩島ヨリ枝井カ、リ、今ハ河内屋新田井筋ヨリカ、レリ

一 見取松山四反五畝歩○定納米一斗三升五合

一 三日役三口

入鹿宗雲新田

○高百三十四石二升二合

田島十四町五反三畝六歩

入鹿下原新田ノ内

入鹿宗雲新田

内 田十二町二反七畝十歩
畑二町二反五畝二十六歩

此内高七石一斗九升六合

荒地前々引

此田四反五畝四歩畑五反九畝十歩

一 畠積五六一反米五斗一升○定免三ツ七分六厘

一 權現社、庄屋書上ニ、初弥次右衛門ト云者、寛文元丑年奉願古屋敷ノ内ニ勸請ス、年貢地ナリ、元禄七甲戌年寺社役所ヨリ改アリ、弥次右衛門子孫八戸ニナリ古屋敷内ニ住居ストナリ

一 此新田東西三町半余南北三町余

一 四至、東ハ春日井郡河内屋新田、南ハ入鹿出新田御供所村、西ハ長桜村八左衛門新田、北ハ長桜村伝右衛門新田

一 此新田ハ、庄屋常右衛門七代前ノ先祖ノ者開墾ス、是ハ旧奥州ノ人小笠原宗雲トイヘル人、其家頼左右田弥次右衛門佐竹左太夫ト云者ヲシテ開墾ノ事ヲ掌ラシム、由是宗雲ノ名ヲノコセリ、今ノ常右衛門ハ即左太夫カ末孫也、因テ私ニ苗字ヲ佐竹ト名ノレリ、此新田モ貧民多ク、高ノ内過半ハ御供所村伴左衛門河内屋新田三左衛門小折出新田弥左衛門弥十郎ナト多ク控キル其田地ヲ承佃シ、其余ノ田畝ヲ当新田ニ持耕ヤス故、加持子薄ク乏匱スト也、村落南屋敷中屋敷北屋敷ト三区ニ分レリ○古戸六口三十三馬三匹、今戸二十二口八十七馬三匹

一 用水ハ東ノ方河内屋井カ、リ也

一 見取田畑三反二十一歩○定納米四斗

一 野方見取松山四町七反五畝歩○定納米一石二斗六升六合 ○三日役十八口

一 見取松山九畝歩○定納米一升五合

入鹿伝右衛門新田

○高八十石八斗七升七合

入鹿下原新田ノ内
入鹿伝右衛門新田

田島八町五反三畝十一歩

内 田七町八反六畝二十二歩
畑 六反六畝十九歩

一 畠積五六一反米五斗一升○定免四ツ五分

一 八王子社、庄屋書上ニ、境内三反五畝歩村附、正保三戌年勸請ス

一 此新田東西八町余南北五町余

一 四至、東ハ小口村、南ハ河内屋新田、西ハ宗雲新田長桜村、北ハ小口村

一 古戸八口四十六馬四匹、今戸二十六口百十馬三匹

一 此新田ハ、庄屋伝右衛門六代以前ノ先人、安良村ヨリ開墾ス志略ニ寛文二年壬寅於今田畝ヲ他村ヘ売ル事ヲセズ、
開墾トアリ
此郷中ノ人皆持伝ヘ来ルトナリ、サレハ今モ高二準シテハ戸口多ク村立ヨクミヘタリ

- 一 用水ハ、河内屋井筋ヨリ枝井ヲ以テ引也
- 一 見取田畑二反二十二歩○定納米七斗
- 一 野方同屋敷山
- 一 竹役五十本結二十本
- 一 三日役十五口

入鹿三右衛門新田

○高六十九石二斗七升五合

入鹿三右衛門新田

田畠七町七畝十歩

内 田六町一反二畝十歩
畠九反五畝歩

一 畠積五六一反米五斗一升○定免五ツ二分

- 一 此新田ハ、田畝西ニテハ御供所村、東北ニテハ長桜村小折出新田宗雲新田長桜替地新田ニ入交レリ、郷中ハ東西十五間南北十八間アリテ小村ナリ、古ハ庄屋伊右衛門先祖一人居住セシカ、後分家共二三戸ニナレリ
- 一 古戸三口五馬二匹、今戸三口十五馬一匹

- 一 野方見取畑一反二十歩屋敷山七反九畝十歩○定納米四斗五升
- 一 三日役三口

小折入鹿新田

○高百三十三石二升

小折入鹿出新田

田畠十五町四反四畝二十三歩

内 田十一町七反八畝三歩
畑三町六反六畝二十歩

- 一 麦成一石一斗○畠積反米五斗一升○定免三ツ七分八厘
- 一 社二区、庄屋書上ニ、神明社内ニ反歩前々除、大福田大明神社内一反二畝歩前々除、是ハ当新田開発ノ時勸請セリ、覚書同之
- 一 此新田ハ十区ニ分レ、西ノ方ニテハ曾本村御供所村ニ混シ、東北ノ方ニテハ九郎左衛門新田三右衛門新田長桜替地新田ニ混シ、南東ノ方ニテハ西ノ鳴村界ヘモ混シ、又御供所村ノ地ハ中通リヨリ四方ニ入跨ケリ、経界ノ行程四至ノ方位モ不分ナリ
- 一 古戸六口五十三牛馬三匹、今戸十八口九十一馬三匹

一 此新田ハ庄屋弥十郎先祖開墾ス、同人宅地ハ三右衛門新田ノ東ニアリ、是ハ小折出新田ノ支邑ナリ、大ザサト此、
民居ハ処々ニ散在シ細民ハカリ也

一 竹役

一 覚書ニ、用水ハ幼川カ、リ木津杖ヘ御役繩出ス

一 三日役十八口

一 納米一石四斗八升七合

一 竹役五十本結竹二束二十二本

一 覚書ニ、当村引得犬山街道作り人足出ス

一 覚書ニ、善師野宿ヘ寄付人馬出ス

入鹿又助新田

○高二十石六斗四升八合

田島二町二反九畝五歩

入鹿又助新田

内 田二町十四歩

畑二反八畝二十一歩

一 島積五六一反米五斗一升○定免四ツ三分五厘

一 覚書ニ、田方一町一反一畝三歩、此高十石御国檢除、入鹿新田頭又兵衛ニ被下

一 此新田ハ、今小折出新田ニ属セリ、覚書ニ、家数一軒人数三人トアリテ、昔時新田主又助住居セシカ、跡断絶シテ今ハ戸口ナシ、小折出新田ノ庄屋兼帶ス

一 見取松山二反○定納米六升

入鹿九郎左衛門新田

寛文二寅年繩入

○高九十三石一斗八升一合

入鹿九郎左衛門新田

田島九町七反一畝六歩

内 田八町七反二畝十五歩
畑九反八畝二十一歩

一 定免五ツ五厘

一 此新田ハ、御供所村長桜替地新田三右衛門新田又助新田ノ田畝ニ接シテ地三ヶ所ホト分レリ、郷中南北三十間ホト東西二十間ホトアリ、此新田ハ元ヨリ戸口少ク、高二準シテハ佃力不足貧村ナリ、開其セシ先人九郎左衛門末

裔ハアレトモ、今ハ甚零落セシニヨリ、今御供所村庄屋支配スルナリ

一 古戸五口三十五馬二匹、今戸四口十二馬ナシ

一 覚書ニ、用水ハ木津井節幼川ヨリカ、ル

一 見取畠屋敷山三反四畝○定納米二斗三升

一 三日役九口

小 口 村

元高千八百四十五石二斗五升八合

●高二千七百七十八石二斗五升八合

稲木庄
小口村

田島二百六十二町五反一畝四歩

内 田百九十四町一反二畝十歩
畑六十八町三反八畝廿四歩

竹腰山城守采

一 高二十五石八斗四升八合

山城守受控
同所入鹿新田

田島三町九畝二十一步

内 田一町四反九畝二十四步
畑一町五反九畝二十七步

此内高九斗三升一合 田一反三畝一步 証文引

一 定免五ツ二分六厘

一 妙徳寺 府志曰、在小口村、号吉祥山、臨濟宗、属余野村徳林寺○覚書ニ、寺内一反三畝十四步備前檢除○当寺書上ニ、境内一反三畝十四步御除地、外田二反七畝步鐘撞田村除、寺控墓所ノ内地藏堂跡三畝步寺控ナリ○寺記ニ、当山ハ文明七未ノ秋箭筈ノ城主織田遠江守広近ノ開基、其以前ハ広近ノ棲隠ノ地ナリ、広近悟溪和尚ハ帰依シテ法躰ス、本住院殿珍岳常宝庵主ト号ス、是和尚ノ名クル所ナリ、木蘭色ノ五条衣ヲ授ラレ、隠居所ヲ万好軒ト改号アリ、心宗録ニ詳也、広近伊勢守敏定ニ遺命シテ、明応元子年此地ニ一寺ヲ創建ス、吉祥山妙徳寺ト改号アリ、本尊ハ聖徳太子ノ作ト云々、俗ニ雷除ノ薬師ト申伝ヘリ、当寺鎮守神ハ城ノ鎮守天神ヲ勧請ス、即是少彦命ニテ大己貴命ト天下ヲ經營シ、万民ノ疾苦ヲ除キ玉フノ神ナリ、洛陽五条松原天神ト同神ナリ、其後永祿元年主僧以文代再建ス、此寺ハ元来丹羽郡余野村徳林寺ノ末刹ナリシヲ、天明元丑年京都妙心寺ノ末刹トナレリ

一 円応寺、上小口ニアリ、曹洞宗、名古屋東寺町永安寺ノ末寺也、此寺ハ元来熱田ニアリテ留心寺ト号セシカ、惠閑尼宿願ニヨツテ、宝曆七丑年留心寺ヲ此地ニ移シ、翌寅年当村人九右衛門父松岩自堅居士追福ノ為ニ一寺ヲ造

立シ、松岩山円心寺ト改号スト也

一 社五ヶ所、覺書ニ、神明白山八幡愛宕大日、社内八反十二步当村称宜太兵衛持分トアリ○当村神明社人喜内書上ニ、神明八幡大日三社境内三反三畝十八步、居屋敷九畝步共ニ村附、神明ハ文禄三年、八幡ハ慶長三戌年、大日ハ寛文三卯年ノ勸請ナリ、天神社内ニ畝步村除、是ハ当地城主織田遠江守ノ城内ノ鎮守ナリ、其後延宝六午年村人共ニ再建ス

薬師堂、覺書ニ、地内九畝十步前々除○修驗福生院書上ニ、薬師堂白山社弁財天社境内九畝十步前々御除地、薬師堂草創ハ、寛政六寅年マテニテ三百四十年程ニナル由申伝フレトモ、年曆ハ不詳、再建ハ寛文五巳年也、白山弁財天ニ社ハ勸請ノ年曆ハ不知、再建ハ承応四未年ニアリ

一 小口天神祠、府志曰、在小口村、延喜神名帳曰、丹羽郡小口神社、本国帳曰、從三位小口天神

一 三明神、二ノ宮南神主久兵衛書上ニ、境内東西十八間南北二十七間、是ハ山城守采地ノ内ニテ除地ナリ、元禄年
中ノ勸請ナリ

一 小口城、府志古城条曰、在小口村、織田和泉守居此、一曰織田与次郎信康居之○信康ハ信定ノ二男信秀ノ舍弟也、天文十六年九月濃州井ノ口ニテ討死也、法名白岩居士○此城跡ハ下小口ト中小口ノ間幼川ノ西岸ニアリ

一 織田直紀曰、犬山宰臣黒田城主和田新介小口_{於久}城主中島豊後守納欵於公_{信長}招納丹羽羽長秀兵於兩城列柵数重、經

營堅固、以為犬山之拒ト云々

一 此村東西十三町余南北二十町

一 四至、東ハ河北村榎田村、南ハ外坪村河内屋新田伝右衛門新田大屋敷村、西ハ力長村前野村余野村柏森村高木村、

北ハ下野村○和名抄ニ丹羽郡小日トアリ小口ノ誤リナラン

一 古戸二百二十口千五牛馬六十七匹、今戸四百十七口千九百四十一馬三十六匹

一 此村落ハ、上小口中小口下小口ト三村二分ル、皆幼川ヨリ西ノ方ニアリ、南ヨリ北ヘ村落程ヲヘタテ、散在ス、支邑ヲ萩島北外坪竹田下島野田野寺田稻口ト云テ七区二分レリ、萩島ハ古木津渠ト新木津渠ノ間ニアリ、上小口ニ属ス、北外坪稻口寺田ハ下小口ノ東南古木津渠ト幼川ノ間ニアリ、竹田下島野田野ハ下小口ノ西ニアリ、此村高二準シテハ戸口多ケレトモ村立アシク、支邑ノ内竹田下島野田野アタリハ砂地ニテ茶圃多シ、ソレヨリ東ヘ付テハ黒真土ニシテ土性ヨキ所ナリシカ、漸々濃力劣リ貧民多クナリ、其内ニハ散田モアリト也

一 覚書ニ、蔵屋敷備前検除一畝二十歩

一 用水ハ、幼川ノ水ヲ長淵井ヨリトリ、木津江ノ上ヲ樋ニテ引也、其外北田面ヘハ郷瀬川ヲモ用水ニトリ総テ樋四ヶ所アリ、又南田面ヘハ小シラミ用水トテ木津渠ヨリ引也

一 木津渠ハ、当村中ヲ北ヨリ南ヘ流ル、郷瀬川ハ河北村ノ北境ヨリ流来リテ木津渠ヘ北ニテ落、幼川ハ河北村ノ南ヲ流来リ木津渠ヘ合シ、中小口下小口東ノ方ヲトホリ大屋敷村ノ方ヘ流レユク也、又萩島北ノ方ニテ古木津新木津二渠ニナレリ

一 山城守請扣田畠野二十五町四反八畝七歩○定納米五十二石二斗

一 同請控松山一町八反七畝○定納米四斗六升八合

一 松山八町○定納米一石四斗四升

一 柳枯草場大江通兩井楯三千九百二十八間片法三尺上納銀十九匁三分

一 三日役四百三十二口

一 入鹿井組高千八十二石七斗新田高四石五斗

一 覺書二、善師野宿寄付人馬出ス

御 供 所 村

元高五百十三石九斗五升四合

●高六百六十一石八斗七升五合

稻木庄
御供所村

田島五十二町七反八畝十三歩

内 田二十七町五畝二十歩
畑二十五町七反二畝二十三歩

此内給知高合六百四十一石六斗三升

十石

成 田 清 吉

五十八石

山 口 清 兵 衛

五十石

服 部 栄 治

五十石

稻葉 太左衛門

二十九石五斗

水野 与兵衛

二十石八斗二升

赤林 孫七郎

二十五石

大原 平兵衛

三十五石三斗四升五合

山澄 清記

二十四石二斗一升

津金 文左衛門

十八石二斗

富田 勘左衛門

四十石

内藤 求馬

四十石

丹羽 勘左衛門

三十五石

古高 孫平次

三十五石

平井 紋左衛門

三十二石七斗七升一合

関 四郎左衛門

三十五石六斗四合

坂崎 嘉代吉

三十七石五斗

大田弥次右衛門

二十四石六斗八升

志村 半兵衛

四十石

佐藤 甚九郎

御藏入高二十石二斗四升五合

田畠一町六反一畝十五歩

内 田八反二畝二十三歩
畑七反八畝二十二歩

此内高二斗八升一合畑二畝廿二歩 前々引

一 麦成七斗一升六合○定免四ツ

高三十二石一斗四升二合

同所入鹿新田

田畠三町八反八畝廿六歩

内 田一町九反二畝九歩
畠一町九反六畝十七歩

此内高三斗六升一合畑五畝五歩 前々引

一 麦成二石○畠積五六一反米五斗一升○定免四ツ五分五厘

一 桂林寺 府志曰、在御供所村、号大香山、曹洞宗、属越前州高瀬宝円寺○覚書ニ寺内年貢地○当寺書上ニ、境内

一 町二反余御除地、此寺ハ文明十六甲辰年桂林和尚ノ開基也、初メ長楽寺ト称セシカ、正保年中当寺中興竜嶽和

尚志願ニ因テ開山ノ名ヲ以テ今ノ寺号ニ改ム

一 社ニケ所、覚書ニ、大明神神明源太夫社内一町余松林共ニ前々除○庄屋書上ニ、氏神神明八剣大明神白山権現相

殿一社境内一町ホト御除地、末社八幡源太夫二社、勸請曆不伝ト也

一 堀尾帶刀吉晴、府志人物条日、初名茂助、丹羽郡御供所村人、仕于豊臣秀吉、屢有武功、登庸為中老、賜越前州

府中城、慶長 子乱奉属 神君、有勲功、賜二十四万石、其子山城守忠晴襲封、領出雲州松江、無嗣国除

一 此村東西十町南北六町半程

一 四至、東ハ長桜替地新田西ノ鳴村矢戸川ヲ界トス、南ハ春日井郡三淵原新田小折出新田曾本村、西ハ小折村安良村幼川ヲ界トス、北ハ安良村大屋敷村、其内此村ハ長桜替地新田三右衛門新田九郎左衛門新田小折出新田宗雲新田長桜村ノ地散在ツ疆界サダカナラズ

一 古戸五十九口三百二十九馬二十一匹、今戸百四十二口五百八十三馬十二匹

一 此村落ハ西ヨリ小折村本郷へ程近シ、西北ニ幼川□回ス、郷内東西二町半程南北二町ホトアリ、竹木ヨク茂リ村立ヨク、又土地モヨシ、高二準シテハ戸口多リ佃力足レリ、頭百姓伴左衛門トイヘル者富戸ナリ、此辺ノ村高新田高ヲ多ク持、其余佐右衛門繁右衛門トイヘル者モ高ヲ多ク持イレリ、覚書ニ枝郷奈良師トアリ、今ハ東西分ル東奈良師ハ幼川ノ南傍ニアリ、西奈良師ハ幼川ノ北ニアリ

一 覚書ニ、用水木津井筋幼川ヨリ用水カ、ル

一 幼川ハ大屋敷村ノ東ヲナカレ、ソレヨリ曲折シテ当村ト小折村ノ間ヲナカル、其川丈七百八十七間アリ、本郷中ヲ南ヘナカル井筋アリ、是曾本村ノ用水カ、リ也

一 覚書ニ、古城跡一ヶ所、先年堀尾帶刀居城、今ハ百姓屋敷ニナル

一 見取田畠一町三反四畝八歩○定納米二石

一 同田一反五畝二十八歩○定納米八斗六升

一 野方見取十一町五反八畝六歩、内松山八反七畝二十九歩草野八町八反九畝二十八歩石原一町八反九歩○定納米六

石一斗六合

一 柳枯草場川通長百間片法一間長三十五間同三尺合三十五間銀一匁八分

一 三日役百二十口

- 一 志略曰、人物志曰、堀尾帶刀先生吉晴丹羽郡御供所村人ト云々、附録曰、吉晴姓在原氏、堀尾初名茂助、後叙從五位下、任帶刀、慶長十六年辛亥六月十七日卒、男出雲守忠氏、忠氏男山城守忠晴云々○太閤記曰、先生吉晴ハ尾州上郡供御所人也、父堀尾中務少輔吉久トテ、国人三十六人ノ内ニテ、尾州上四郡沙汰ヲ知り侍リ、又帶刀先生童名仁王丸トソ申セシ、十七歳ノ夏茂助ト改ム、美婦人ノ様ニアリシト、十六歳ノ時ノ高名ヨリ、三州池鯉鮒ニテ加賀野井弥八郎ヲ討シマテ、武功二十二度也、初ハ秀吉公ノ寄子トシ信長公ニ事フト云々、秀吉ノ臣トナリ江北長浜ニシテ百五十石ヲ領セシヨリ、飛竜如在天満幸長シ来ツテ、雲隠二州ノ守護トナツテ号帶刀先生吉晴
- 一 志略曰、里老云、古從 地調進熱田大神供御、故名邑云

入鹿清右衛門新田

寛文二寅年繩入

○高二十八石四斗一合

田畠三町四反一畝二十三歩

入鹿清右衛門新田

内 田二町五反四畝三歩
畑八反七畝二十歩

一 畠積麦五斗稗六斗大豆一斗反米五斗一升○定免四ツ九分

一 此新田ハ、小口村ノ中ニ田畝八ヶ所混シ、東ノ方ニ至リテニヶ所河北村中ヘモ混ス、村落ハ新古津ト古木津ノ間、小口ノ支邑萩島ノ南ニアリ

一 古戸七口三十馬二匹、今戸十六口四十四馬一匹

一 用水ハ、古木津□ヨリ西ハ河内屋カ、リ、東ハ新木津渠カ、リ、河北村ノ内ニヶ処ハ清水カ、リ也

一 野方見取田畑屋敷山合五反三畝十五歩○定納米三斗八升

一 三日役六口